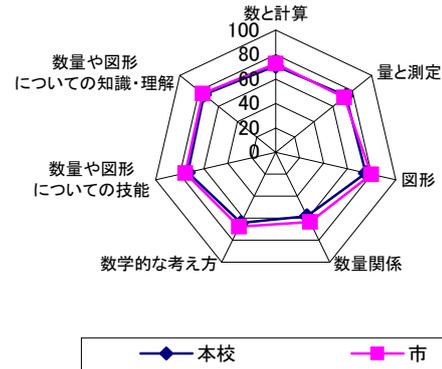


宇都宮市立西原小学校 第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	70.7	72.5
	量と測定	73.3	71.5
	図形	75.0	79.6
	数量関係	58.0	63.5
観点別	数学的な考え方	64.4	67.6
	数量や図形についての技能	73.2	75.1
	数量や図形についての知識・理解	74.9	76.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ・市の平均正答率を下回った。 ・整数のなかま分けの問題は、偶数と奇数とに類別することができ、公約数についてもよく理解していた。そのため、市の平均を上回った。 ・分数の加法では、分母の通分の時点ででのつまづきが目立った。 ・小数×整数の文章問題を表した図をよく理解できないための誤答が目立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を継続し、さらに個に応じた指導を充実させていくようにする。 ・文章問題においては、立式までの手順を再確認するとともに、練習問題に数多く取り組むようにし、習熟を図るようにする。 ・計算については、表現・処理としての扱いだけでなく、計算の仕方の意味をしっかりと理解できるよう、数学的な考え方を育成するようにする。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> ・市の平均正答率を上回った。 ・立方体の体積を公式を使って求めたり、展開図から直方体の体積を求めたりする問題や、単位量あたりの大きさを求め、混み具合を答える問題はよくできており、市の平均正答率を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で単位量あたりの大きさや平均を使う場面を意識させるとともに、発展的な活動も取り入れていくようにする。 ・体積については、具体物を使った学習をより一層充実させるとともに、年頭操作もできるよう、練習問題に数多く取り組むようにする。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ・市の平均正答率を下回った。 ・四角形の対角線の性質、合同な図形の性質を問う問題に対する誤答が見られた。また、立方体の展開図から平行な面を求める問題は、誤答が目立ち、市を大きく下回った。 ・三角形、四角形の内角の和については、よく理解しており、指定された内角、外角を正しく求めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の基本的な性質を再確認するとともに、立体図形については、具体物を使った学習を充実させるようにする。 ・角の大きさを求める際の計算式の正確さを徹底する。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> ・市の平均正答率を下回った。 ・伴って変わる二つの数量の関係を式に表すことは、市と同等の正答率であった。 ・4年の内容ともかかわりのある計算のきまりの問題では、そのきまりを小数へ拡張できず、誤答が目立ち、市の平均と比較して約10%も下回ってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、工夫して計算する場面を意図的に設定し、計算のきまりの利便性を実感できるようにする。